

TASCAM

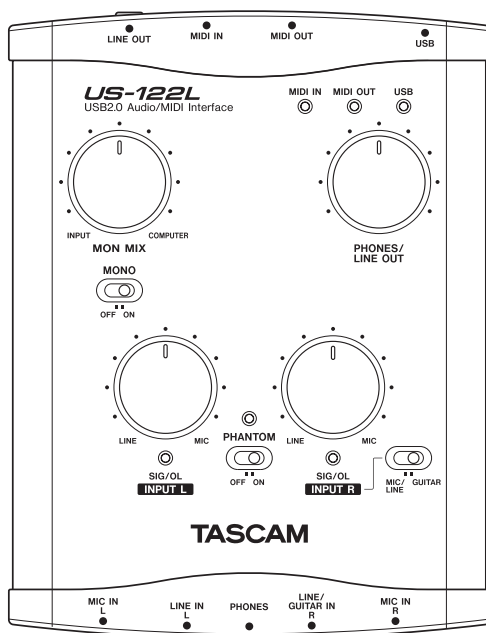
TEAC PROFESSIONAL

D00927601C

US-122L

USB Audio/MIDI Interface



取扱説明書






安全にお使いいただくために

この取扱説明書への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっていきます。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

| | |
|--|---|
|  警告 | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  注意 | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

絵表示の例

| | |
|--|--|
|  | △記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 |
|  | ⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。 |
|  | ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 |

警告



この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。



この機器を改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



この機器の上に花瓶や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

注意



5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センターにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用についてはご相談ください。



次のような場所に置かないでください。火災、感電・故障やけがの原因となることがあります。

- ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- ・ 湿気やほこりの多い場所
- ・ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所

目次

| | | | |
|--|----|-----------------------------------|----|
| 安全にお使いいただくために | 2 | 第6章 MIDIインプリメンテーション チャート | 14 |
| 目次 | 3 | 第7章 定格および性能 | 15 |
| 第1章 はじめに | 4 | | |
| 1.1 概要 | 4 | | |
| 1.2 機能 | 4 | | |
| 1.3 本機の構成 | 4 | | |
| 第2章 各部の名称と働き | 5 | | |
| 2.1 トップパネル | 5 | | |
| 2.2 リアパネル | 6 | | |
| 2.3 フロントパネル | 6 | | |
| 第3章 インストール | 8 | | |
| 3.1 必要なシステム | 8 | | |
| 3.1.1 Windows の場合 | 8 | | |
| 3.1.2 Mac OS Xの場合 | 8 | | |
| 3.2 ドライバーのインストール | 8 | | |
| 3.2.1 Windows 用ドライバーの インストール | 9 | | |
| 3.2.2 Mac OS X 用ドライバーの インストール | 9 | | |
| 3.3 コンピュータの設定 | 9 | | |
| 第4章 コントロールパネルの設定 | 10 | | |
| 4.1 概要 | 10 | | |
| 4.2 ドライバーの設定 | 10 | | |
| 4.2.1 Audio Performance | 10 | | |
| 第5章 接続 | 11 | | |
| 5.1 USBの接続 | 11 | | |
| 5.2 オーディオの接続 | 11 | | |
| 5.3 MIDIの接続 | 13 | | |

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱をしてください。

第1章 はじめに

この度はUS-122L（USBオーディオ/MIDIインターフェイス）をお買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、十分に機能を発揮させ永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

本機を使ったシステム内の他のMIDI機器、ハードディスク、MOディスクなどの記憶内容を消した場合は修復に関しては、補償を含めて当社は責任を負いかねます。

1.1 概要

本機はCubase LE4をはじめとするデジタルオーディオワークステーション（DAW）用ソフトウェアアプリケーションのためのUSBベースのオーディオインターフェイスです。2入力/2出力の24ビット/96kHzのオーディオインタフェース16チャンネルMIDI入出力を装備しています。

本機はUSBを使ったオーディオインターフェイスですので、デスクトップ型またはラップトップ型コンピュータをベースにしたデジタルレコーディングシステムの中で使うのに最適です。本機はUSB電源のみで動作しますので、ラップトップコンピュータと組み合わせることにより非常にコンパクトなポータブルデジタルオーディオワークステーションシステムになります。

また、レコード、カセットテープなどのアナログ音源をパソコンに取り込んで、オーディオCDに保存するといった用途にも最適です。

1.2 機能

- 24ビット/96kHzのオーディオインタフェースを搭載。
- アナログ入力信号(L,R)を同時に入力し、USB

経由で同時にパソコンに出力することが可能。

- 2つのXLRマイク/ライン入力（バランス）および2つの標準ホン・マイク/ライン入力（バランス/アンバランス）を装備。

標準ホン入力は、スイッチの切換によりエレキギターやエレキベースなどの接続が可能（RCHのみ）。

- アンバランスステレオライン出力（RCAジャック）およびヘッドホン出力を装備。
- MIDI IN/OUT装備。
- ダイレクトモニター機能により遅延がない入力モニターが可能。
- USB端子から電源供給が可能。

コンピュータ操作に関して

本書の説明に出てくるコンピュータの基本操作について不明な点がある場合は、お使いのコンピュータの取扱説明書をご参照ください。

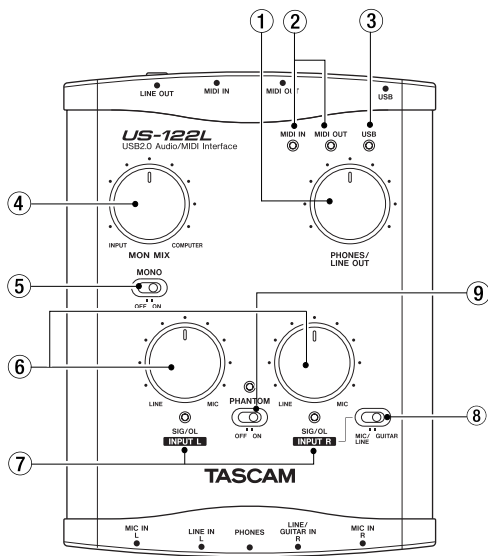
1.3 本製品の構成

本製品の構成は以下の通りです。

| | |
|------------------------------|----|
| US-122L本体 | ×1 |
| USBケーブル | ×1 |
| 取扱説明書（本書） | ×1 |
| CD-ROM（ドライバー、マニュアル などを含む） | ×1 |
| DVD-ROM（Cubase LE4） | ×1 |

第2章 各部の名称と働き

2.1 トップパネル



① PHONES/LINE OUTレベルつまみ

LINE OUT端子およびPHONES端子の出力レベルをコントロールします。

② MIDI IN, OUTインジケータ

MIDI INインジケータ：MIDI データがMIDI IN端子に入力されているときに点灯します。

ご注意

アクティブ・センスを送る装置を接続した場合、このインジケータは絶えず点灯します。

MIDI OUTインジケータ：MIDI データがMIDI OUT端子から出力されているときに点灯します。

③ USBインジケータ

USB接続が有効なときに点灯します。

④ MON MIXバランスつまみ

LINE OUT端子およびPHONES端子から出力される信号ソースのバランスをコントロールします。左一杯にすると本機の入力信号（XLR端子、ホンジャック端子またはDIGITAL IN端

子からの入力）、右一杯にするとUSB経由で入力されたコンピュータの出力信号が出力されます。

⑤ MONOスイッチ

モニターをモノラルで行なう場合、このスイッチをONにします。このスイッチはアナログ入力信号にのみ有効です。

⑥ INPUTつまみ（L, R）

MIC IN端子およびLINE IN端子から入力されるオーディオ入力信号レベルを調節します。

⑦ SIG/OLインジケータ

各入力チャンネル（L, R）に信号が入力されているときに点灯します。歪まないレベルの信号が入力されている時は緑色に点灯し、歪む直前に赤く点灯します。このインジケータはアナログ入力にのみ有効です。

メモ

-30dBFS～-2dBFSの信号を入力しているとき緑色に点灯します。

-2dBFS以上の信号を入力すると赤色に点灯します。

⑧ MIC/LINE-GUITAR切換スイッチ

LINE IN端子のRチャンネルの入力ソースに応じて設定します。エレキギター、エレキベースなどを直接接続する場合は"GUITAR"にします。電子楽器やオーディオ機器、マイクなどを接続する場合は"MIC/LINE"にします。

⑨ PHANTOMスイッチ

MIC IN端子に+48Vのファントム電源を供給するためのスイッチです。

ご注意

ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクを使用する場合のみ、スイッチをONにしてください。

また、"PHANTOM"スイッチをONにすると、バッテリー電源のラップトップコンピュータを使って本機を駆動している場合にコンピュータの電源

第2章 各部の名称と働き

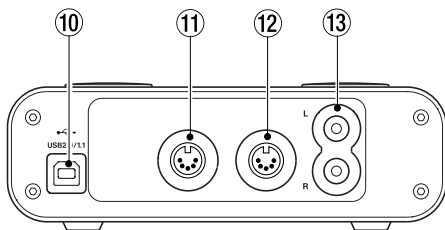
の消耗が早くなります。

PHANTOMスイッチONのままでマイクを抜き差ししないでください。

アンバランスタイプのダイナミックマイクロホンにファントム電源を供給しないでください。

リボンマイクロホンの中にはファントム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合は、リボンマイクロホンにファントム電源を供給しないでください。

2.2 リアパネル



⑩ USB端子

USB ケーブルを使ってホストコンピュータと接続します (USB 2.0に対応)。

ご注意

- USB 1.1 (FULL SPEED) 動作時は、使用できるサンプリング周波数は44.1 kと48 kに制限されます。
- US-122LはUSBケーブルを通して、接続するコンピュータから電源を得ます。コンピュータによってはUSBポートから本機を動作させる為に必要なパワーを供給することができないかもしれません。この場合、セルフパワーのUSB 2.0ハブを購入することをご検討ください。

⑪ MIDI OUT端子

MIDI 信号を出力します。

⑫ MIDI IN端子

MIDI 信号を入力します。

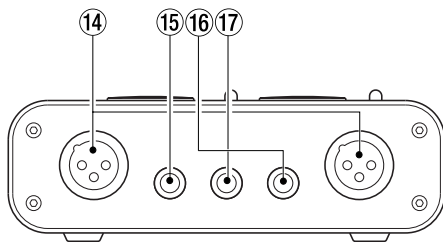
⑬ LINEOUT L/R端子

(RCA ピン、アンバランス)
アナログステレオ出力端子です。

メモ

PHONES端子にヘッドホンを接続するとLINE OUT端子から信号が出力されなくなります。

2.3 フロントパネル



⑭ MIC IN (L, R)端子 (XLRバランス)

アナログマイク入力端子です。

配線はピン1=GND、ピン2=ホット、ピン3=コールドです。

⑮ LINE IN (L)端子

(3極標準ホンジャック)

バランスライン入力端子です。

⑯ LINE / GUITAR IN (R)端子

(3極標準ホンジャック)

バランスライン入力端子です。ギター入力も可能です。トップパネルのMIC/LINE-GUITAR切替スイッチが"GUITAR"のときは、アンバランスのギター用入力端子、MIC/LINE-GUITAR切替スイッチが"MIC/LINE"のときは、バランス入力端子として機能します (スリーブ=GND、チップ=ホット、リング=コールド)。

第2章 各部の名称と働き

⑰ PHONES端子（ステレオ標準ホン）

ヘッドホン出力端子です。

メモ

この端子にヘッドホンを接続するとLINE OUT端子から信号が出力されなくなります。

第3章 インストール

3.1 必要なシステム

3.1.1 Windows の場合

- 対応OS：32-bit Windows XP SP2
32-bit Windows Vista
- システム推奨条件：
 - ・ Pentium またはAMD Athlon の1GHz以上
(または同等のプロセッサ)
 - ・ 512MB以上のメモリー
 - ・ USB2.0ポートを装備

これらは、Cubase LE4を動作させるために必要な推奨条件です。他のアプリケーションソフトウェアをお使いになる場合は、そのアプリケーションソフトウェアにあった動作環境を用意してください。

ご注意

- ハードディスクのスピードによって使用可能なオーディオトラック数が決まります。スピードが速いほど、より快適に使用することができます。
- メモリーは512MB以上をお勧めしていますが、デジタルオーディオアプリケーションソフトウェアの場合、容量が大きいほど快適な動作が得られます。
- 本機の動作確認は上記のシステム条件を満たす標準的なコンピュータを使って行なわれていますが、上記条件を満たすコンピュータ全ての場合の動作を保証するものではありません。同一条件下でもコンピュータ固有の設計仕様や使用環境の違いにより処理能力が異なることを予めご了承ください。

3.1.2 Mac OS Xの場合

- USB 2.0端子を装備したMacintoshコンピュータ
- Mac OS X (10.3.9 以上)

Macintoshの場合もメモリー容量が大きいほど、またドライブのスピードが速いほど、快適な動作が得られます。

3.2 ドライバーのインストール

本機を使用するには、コンピュータにドライバーをインストールする必要があります。以下に述べるように、本機に付属のCD-ROMを使って簡単にインストールすることができます。

ドライバーは随時更新されています。最新のドライバーは弊社のウェブサイトからダウンロードすることができます。

なお、ドライバーをインストールするときは本機をコンピュータに接続しないでください。

ご注意

- 付属のCD-ROMディスクの取り扱いには充分ご注意ください。ディスクに傷や汚れがあると正しくデータを読み出せないためにインストールできない場合があります。

なお付属のCD-ROMディスクが破損した場合、有償にて交換できます。
- 付属のCD-ROMディスクを一般のオーディオCDプレーヤーでは絶対に再生しないでください。ノイズによってスピーカーを破損したり聴力障害が起きることがあります。

3.2.1 Windows 用ドライバーのインストール

本機のドライバーは、実行ファイル型インストーラーとして、CD-ROMに収められています。

- US122L & US-144 driver x_yy (x_yyはバージョン番号)

"www.tascam.jp/"において、利用可能なドライバーの最新バージョンであるかどうかを確認してください。

インストール方法

1. 本機がコンピュータに接続されていないことを確認します。
2. インストール実行ファイル「**US122L & US-144 driver x_yy**」をダブルクリックしてください。インストーラーが起動します。
3. ご希望の言語を選択した後に「**ok**」ボタンをクリックしてください。ダイアログボックスが表示されます。
4. 「**Install the Driver**」ボタンをクリックしてください。ドライバーがインストールされます。

ご注意

- ドライバーのインストール中に、「**Windows ログテストに合格していません...**」という警告が表示されます。この警告は、Windows のログテストを受けていないドライバーをインストールするときに表示されるメッセージです。弊社製品のドライバーは、Windowsのログテストを受けていないためにこのメッセージが表示されますが、Windows XP用の本ドライバーは弊社で動作確認済みです。

このメッセージが表示されたときは、**【続行】**をクリックしてインストールを続けてください。

コンピュータを再起動するメッセージが出た場合は、コンピュータを再起動してください。再起動後、本機をコンピュータに再接続します。これで本機のドライバーのインストールが完了し、操作ができる状態になりました。

3.2.2 Mac OSX用ドライバーのインストール

本機がコンピュータに接続されていない状態で、CD-ROM をコンピュータにセットし、インストーラーをダブルクリックして、そのあと画面の指示に従います。

コンピュータを再起動後、本機を接続します。

3.3 コンピュータの設定

本取扱説明書では基本的なポイントのみを以下に述べます。

- 他のアプリケーションを立ち上げないようにしましょう。本機を接続しているコンピュータをオーディオ以外の用途に使用することもあると思いますが、オーディオアプリケーションを使用しているときには他のアプリケーションを立ち上げないようにしてください。デジタルオーディオの処理はコンピュータにかなりの負担をかけます。したがって、他のアプリケーション（特にグラフィックやインターネットツール）を動作することによって処理が追いつかなくなる可能性があります。
- ネットワークカードやWinModemのようなデバイスの中にはUSBの操作とコンフリクトを起こすものがあります。コンフリクトが起きた場合、その原因となるデバイスをデバイスマネージャ内で一時的に無効にすることができます。
- コンピュータがIDEハードディスクを装備している場合、ダイレクトメモリアドレッシング（DMA）をオンにすると性能が向上します。Windows XPではデフォルトでオンになっています。

さらにハードウェアの変更や拡張を行うことにより、コンピュータのオーディオ処理能力を向上させたり、録音再生トラック数を増やすことができます。

第4章 コントロールパネルの設定

4.1 概要

コントロールパネルでは、本機の機能の設定を行うことができます。

Windows においては、"US-122L & US-144 Control Panel" ショートカットが下記の場所からアクセスできます。

- スタートメニュー
- コントロールパネル
- プログラム/TASCAM/US-122L & US-144

Mac OS Xにおいては、"US-122L & US-144 Control Panel" はアプリケーションフォルダーにあります。その他、Mac OS XでオーディオとMIDIの設定に必要な "Audio MIDI 設定" はアプリケーション/ユーティリティのフォルダーにあります。

コントロールパネルは、以下の2つのセクションに分かれています。

• Statusセクション

ドライバーの現在の状態と接続ハードウェアを示しています。

このセクションから設定の変更はできません。

• Settingセクション

ドライバーの各設定を変更します。

ご注意

Mac OS Xバージョンのコントロールパネルには Setting セクションがありません。

4.2 ドライバーの設定

4.2.1 Audio Performance

本機のドライバーは、オーディオ入出力信号を一時的にバッファに蓄えています。

このバッファサイズは調整が可能です。

バッファサイズが小さいほど、入力信号モニター時のオーディオ信号の遅れが少なくなります。他のシステム操作を行なった場合に処理が間に合わないと、オーディオ信号にクリックノイズ、ポップノイズ、ドロップアウトなどが発生する場合があります。

バッファサイズを大きくするほど動作がより安定し、他のシステム操作のオーディオ信号への悪影響に対して強くなります。モニター時のオーディオ信号の遅れが大きくなります。本機では、ユーザー環境に合わせてバッファサイズを設定することができます。

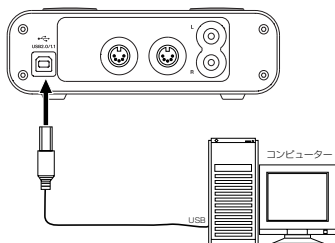
Windows においては、コントロールパネルの Audio Performance でバッファサイズの調整を行います。lowest Latency ではバッファサイズが最も小さく、highest latency では最も大きくなります。

Mac OS Xでは、バッファサイズは使用する各オーディオアプリケーションにて設定します。ですので、Mac OS Xバージョンのコントロールパネルには Audio Performance がありません。詳しくはお使いになるオーディオアプリケーションのドキュメンテーションをご参照ください。

第5章 接続

5.1 USBの接続

付属のケーブルを使って、図のように本機とコンピュータを接続してください。



ご注意

USB機器の中には、USBバスを頻繁に使用するものがあります。オーディオ信号のドロップアウト、クリックノイズなどを避けるために、本機が接続されているUSBバス上には他のUSB機器を接続しないことを強くお勧めします。

ただしUSBキーボードとUSBマウスは接続しても問題ありません。

5.2 オーディオの接続

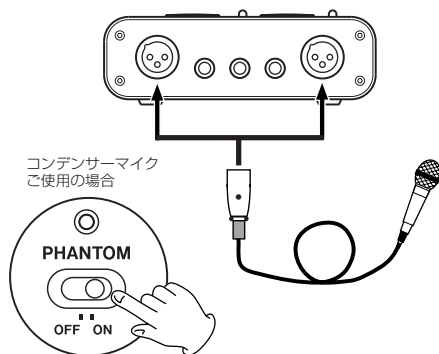
マイク、ギター、キーボード、オーディオ機器などの出力信号を本機に入力し、本機でデジタル信号に変換し、USBを経由してパソコンに送ることができます。また、スピーカー（アンプ経由）やヘッドホンをお機に接続することにより、本機に入力されるオーディオ信号やコンピュータからの出力信号をモニターすることができます。

ご注意

本機には2つの入力チャンネル（L、R）があり、それぞれアナログ入力端子としてMIC IN端子（XLR）とLINE IN端子（ホンジャック）を装備しています。これらのアナログ入力端子に同時に信号を接続しないでください。同時に接続すると、信号が本機に正しく入力されません。

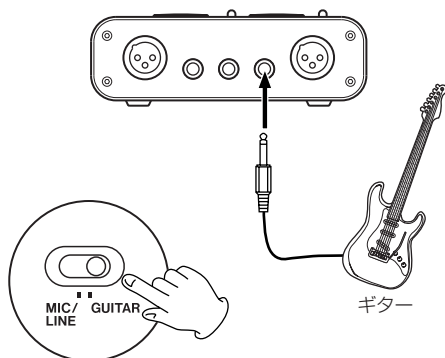
マイク

マイクはMIC IN（L、R）端子（XLR）に入力します。ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクをご使用になる場合は、ファントム電源をオンにしてください。



ギター

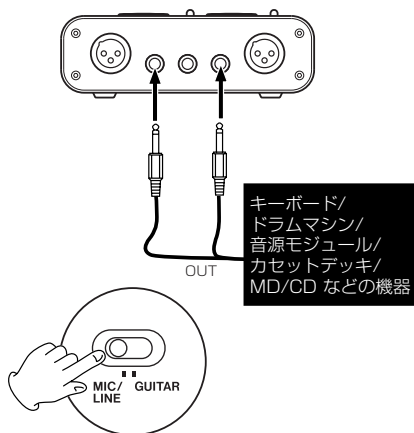
ギターやベースギターはRチャンネルのLINE/GUITAR IN端子（ホンジャック）に接続しMIC/LINE-GUITARスイッチを"GUITAR"に設定します。



第5章 接続

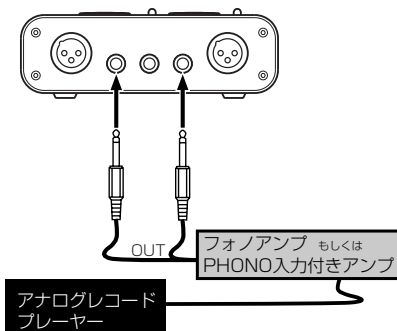
キーボード/ドラムマシン/音源モジュール/カセットデッキ/MD/CDなど (アナログ接続)

これらの機器のアナログ信号出力は、LINE IN (L、R) 端子 (ホンジャック) に接続します。Rチャンネルに接続する場合、MIC/LINE-GUITARスイッチを"LINE"に設定します。



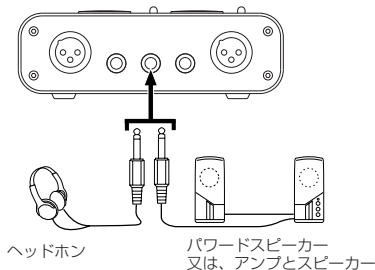
アナログレコードプレーヤー

アナログレコードプレーヤーの出力は直接本機に接続することができません。アナログレコードプレーヤーを本機に接続するには、アナログレコードプレーヤーと本機の間には、フォノアンプが必要です (あるいはPHONO入力を持つオーディオアンプを介して接続します)。



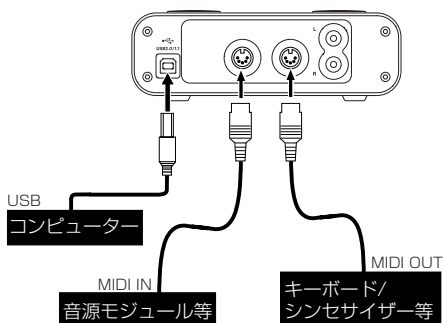
ヘッドホン/スピーカー

ヘッドホンやスピーカーは、PHONES端子 (ステレオ標準ホン) に接続します。

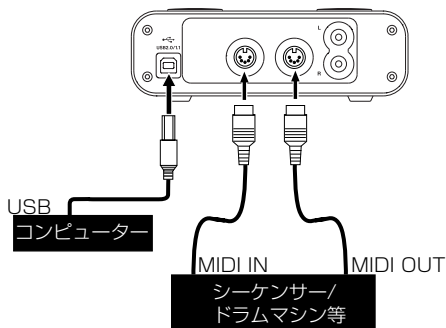


5.3 MIDIの接続

音源モジュール、キーボード／シンセサイザー、ドラムマシンなどのMIDI機器と本機を以下のように接続します。



MIDI IN/MIDI OUT端子を使って、MTC（MIDIタイムコード）の送受信を行うことができます。これにより、コンピュータアプリケーション上のMTC対応MTR（マルチトラックレコーダー）とMIDI機器を同期することができます。



第6章 MIDIインプリメンテーションチャート

MIDIインプリメンテーションチャート

| 機能 | 送信 | 受信 | 備考 |
|--------------|---|------------------|-------------------------|
| ベーシック・チャンネル | 電源オン時 設定可能 | × × | × × スルー |
| モード | 電源オン時 メッセージ 代用 | × × | × × スルー |
| ノート・ナンバー | 音域 | × | × スルー |
| ベロシティ | ノート・オン ノート・オフ | × × | × × スルー |
| アフター・タッチ | キー別 チャンネル別 | × × | × × スルー |
| ピッチ・ベンド | | × | × スルー |
| コントロール・チェンジ | | × | × スルー |
| プログラム・チェンジ | : 設定可能範囲 # | × | × スルー |
| システム・エクスルーシブ | | × | × スルー |
| システム・コモン | : ソング・ポジション : ソング・セレクト : チューン | × × × | × × × スルー |
| システム・リアルタイム | : クロック : コマンド | × × | × × スルー |
| その他 | : ローカル・オン/オフ : オール・ノート・オフ : アクティブ・センス : リセット | × × × × | × × × × スルー |
| 備考: | | | |

モード1 : オムニ・オン、ポリ
モード3 : オムニ・オフ、ポリ

モード2 : オムニ・オン、モノ
モード4 : オムニ・オフ、モノ

○ : YES
× : NO

第7章 定格および性能

定格

MIC IN入力 (アナログ) :

XLR (1:GND, 2: Hot, 3: Cold)、バランス
入力インピーダンス : 1.2 k Ω
入力レベル (INPUTつまみ最大時) : -58 dBu
入力レベル (INPUTつまみ最小時) : -14 dBu
最大入力レベル (INPUTつまみ最小時) : +2 dBu

LINE IN入力 (アナログ) :

標準ジャック (Tip: Hot, Ring: Cold, Sleeve: GND)
Lチャンネル、およびMIC/LINE-GUITARスイッチを
MIC/LINEに設定時のRチャンネル

入力インピーダンス : 10 k Ω
規定入力レベル (INPUTつまみ最大時) : -40 dBu
規定入力レベル (INPUTつまみ最小時) : +4 dBu
最大入力レベル (INPUTつまみ最小時) : +20 dBu

MIC/LINE-GUITARスイッチをGUITARに設定時の
Rチャンネル

入力インピーダンス : 1 M Ω
規定入力レベル (INPUTつまみ最大時) : -51 dBV
規定入力レベル (INPUTつまみ最小時) : -7 dBV
最大入力レベル (INPUTつまみ最小時) : +9 dBV

LINE OUT出力 (アナログ) :

RCAピンジャック、アンバランス
出力インピーダンス : 100 Ω
規定出力レベル : -10 dBV
最大出力レベル : +6 dBV

PHONES出力 (アナログ) :

ステレオ標準ジャック (Tip: Hot, Ring: Cold,
Sleeve: GND)
最大出力 : 14 mW+14 mW, 32 Ω 負荷時

MIDI IN :

Din 5 ピン [標準MIDIフォーマット]

MIDI OUT :

Din 5 ピン [標準MIDIフォーマット]

USB : USB Down stream connector

フォーマット : USB 2.0

AD/DA Converter :

24ビット/96kHz、
ディレイ : 27.6 サンプル(ADC)、
19.3 サンプル(DAC)

外形寸法 :

147(幅)×192(奥行き)×48(高さ)mm

質量 : 1 K g

電源 : USB経由で供給

5V, 最大電流500 mA)

性能

S/N比 :

LINE IN →LINE OUT (ADC, DAC経由) :
96 dB以上 (A-weighted, INPUT TRIM min.,
入力インピーダンス 40 Ω)

LINE IN →LINE OUT (Direct monitor経由) :
100 dB以上 (A-weighted, INPUT TRIM min.,
入力インピーダンス 40 Ω)

歪み率(THD+N, 22Hz-22kHz) :

LINE IN →LINE OUT (ADC, DAC経由) :
0.006 %以下 (1kHz Sine +20 dBu入力,
INPUT TRIM min.)

LINE IN →LINE OUT (Direct monitor経由) :
0.004 %以下 (1kHz Sine +20 dBu入力,
INPUT TRIM min.)

ホストコンピュータ互換 :

オペレーティングシステム :

Windows : 32bit-Windows XP SP2
32bit-Windows Vista
Macintosh : Mac OS 10.3.9以上

コミュニケーション : USB 2.0

オーディオ/MIDIインタフェースプロトコル :

Windows : WDM(KS), ASIO/ASIO2, GSIF2I
Macintosh : Core Audio, Core MIDI (OS X)

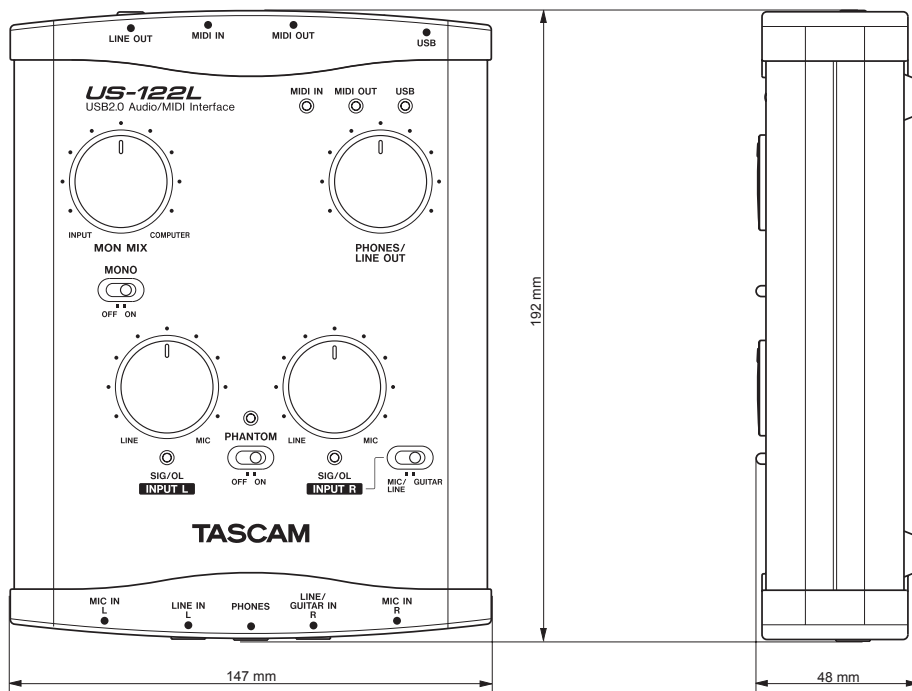
バンドルソフトウェア :

Cubase LE4 (Windows, Macintosh用)

第7章 定格および性能

- * Microsoft, Windows, Windows XP, および Windows Vista は、米国Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- * Macintosh, Mac OS, およびMac OS Xは、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。
- * Pentium は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- * AMD Athlon は、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。
- * MIDI は、社団法人音楽電子事業教会（AMEI）の登録商標です。
- * その他のこのマニュアルに記載されている社名・商品名およびロゴマークは、一般に各社の登録商標または商標です。

外形寸法図



この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム営業技術までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00～12:00 / 13:00～17:00です。

タスカム営業技術

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47



® **0120-152-854**

携帯電話・PHS・IP電話などからはフリーダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。

お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-8



0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。

PHS・IP自電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

新電電各社をご利用の場合、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

<http://www.tascam.jp/>